

## 新たな才能を、丸の内から世界へ向けて発掘・発信するアート展 「アートアワードトーキョー 丸の内2011」開催

ゲスト審査員に世界を舞台に活躍する人気アーティスト 小谷元彦氏を迎え  
美大・芸大の卒業・修了制作から選りすぐりの30作品を一堂に展示

7月3日(日)～7月31日(日)

アートアワードトーキョー 丸の内 2011 実行委員会は、7月3日(日)～7月31日(日)の期間、丸ビル・新丸ビルに隣接するパブリックスペース、行幸地下ギャラリーにおいて「アートアワードトーキョー 丸の内 2011」を開催します。

今年で5回目を迎える「アートアワードトーキョー 丸の内」(a.a.t.m.)は、若手アーティストの発掘・育成を目的とした現代美術の展覧会です。日本全国の主要な美術大学・大学院の卒業・修了制作展から選抜した個性豊かな30作品をパブリックスペースに展示します。初日の7月3日(日)には、世界を舞台に活躍する人気アーティスト、小谷元彦氏をゲスト審査員に迎え、公開最終審査を実施。グランプリをはじめとする全14賞を選出します。なお今年は新たにアッシュ・ペー・フランス賞を新設し、受賞アーティストのさらなる広がりを目指します。

過去4回の a.a.t.m.で紹介したアーティストの数は、延べ188名に及びます。昨年シュウ ウエムラ賞を受賞した小浪次郎さんが同社グローバル展開のキャンペーンビジュアルの撮影を手がけるなど、本アワードは、回を重ねるにつれ若手アーティストの登竜門として、着実に成果を上げています。

5年目の節目を迎える今回は、a.a.t.m.のこれまでの活動を総括したアーカイブを会場の一部に設置し、過去参加アーティストの活動を紹介するパネルを通じて、a.a.t.m.による若手アーティスト支援活動の軌跡をご覧ください。

次代を担う新鋭アーティストたちのフレッシュなエネルギーが溢れる丸の内へ、ぜひお越しください。



2010年 会場風景(行幸地下ギャラリー)



「アートアワードトーキョー 丸の内2010」グランプリ  
作品名:「VOICE PORTRAIT ～Self Introduction～」  
松島俊介／情報科学芸術大学院大学卒業

## 「アートアワードトーキョー 丸の内2011」開催概要

開催日時： 7月3日(日)～7月31日(日)展示 会期中無休  
7月3日(日) 公開最終審査会 (於:行幸地下ギャラリー)  
※審査員が会場を回り作品審査を行います。一般見学可  
アワード授賞式 (於:丸ビル1階 丸の内カフェ ease)  
時 間： 11:00～18:00(予定)※電力供給の状況により変更の場合あり  
開催場所： 行幸地下ギャラリー 東京都千代田区丸の内2-4-1(行幸通り地下)  
入 場： 無料  
主 催： アートアワードトーキョー 丸の内 実行委員会  
特別協賛： 三菱地所株式会社



### ◇三菱地所からのメッセージ

三菱地所グループでは東日本大震災で被災された方々、そして日本の復興を願い、「元氣! FOR JAPAN.」をスローガンに復興支援活動を展開しております。丸の内は、経済・社会・環境・文化のバランスのとれた「世界で最もインタラクティブな街」を目指し、特に「文化」の面においては2010年にオープンした「三菱一号館美術館」やa.a.t.m.をはじめとするアート・音楽系の催し等により街づくりを推進しております。三菱地所は「元氣! FOR JAPAN.」の一環として、「アートで日本を元気にする!」というメッセージを込めて、学生を対象とした現代美術のアワードとしては唯一無二の存在であるa.a.t.m.を本年も引き続き支援・応援して参ります。

協 賛： シュウ ウエムラ コスメティックス  
協 力： アッシュ・ペー・フランス株式会社  
後 援： 在日フランス大使館  
お問合せ： アートアワードトーキョー 丸の内2011 実行委員会事務局  
URL <http://www.artawardtokyo.jp> Mail: [info2011@artawardtokyo.jp](mailto:info2011@artawardtokyo.jp)

内容・見所： 若手アーティストの発掘・育成を目的とした現代美術のアワード展

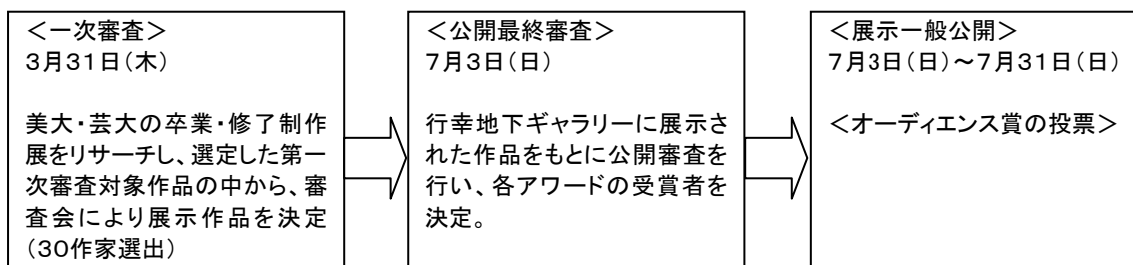
### 1)若い才能を発見できるショーケース

国内の美術大学・芸術大学の卒業制作の中から、アート界を牽引する9人の審査員による厳密な審査で選ばれた30作品が一堂に介します。

### 2)公開審査会

初日の7月3日(日)に行われる最終審査会は、行幸地下ギャラリーに展示された作品を審査員全員がひとつひとつ見て回り、アーティストたちに鋭い質問を投げかけていきます。真剣な審査のリアルな現場を一般の方もご覧いただける貴重な機会です。

### 【審査の流れ】



### 3)新たにHPフランス賞を新設。ゲスト審査員は、現代美術作家の小谷元彦氏

本年のゲスト審査員として、世界で活躍する実力派アーティスト、小谷元彦氏をお招きします。また今年からアッシュ・ペー・フランス賞が新設され、アーティストの受賞後の活躍の場がさらに広がりました。シュウ ウエムラ賞、オーディエンス賞を合わせ、全14賞を選出します。

### 4)a.a.t.mの5年の歩みをまとめたアーカイブコーナーを設置

過去4回の a.a.t.m.で紹介した188名のアーティストの中からは、すでに各方面で活躍する注目の新人作家も数多く誕生しています。第5回目となる今回は、a.a.t.m.の5年の歩みやa.a.t.m.参加後のアーティストの活躍を紹介したアーカイブコーナーを会場の一部に設けます。a.a.t.m.によるアーティストの育成・発掘が生んだ成果をご覧ください。

#### アワード各賞：

グランプリ	1名	賞金30万円
準グランプリ	1名	賞金20万円
審査員賞	9名	賞金 5万円
オーディエンス賞	1名	
シュウ ウエムラ賞	1名	

シュウ ウエムラは、「the art of beauty」すなわち、美とアートの融合を追求し続ける化粧品ブランドです。才能溢れる若手アーティストの育成に貢献していきたいと考え、第3回よりシュウ ウエムラ賞を設立しました。受賞者にはデザインコラボレーションの機会が与えられ国際デビューへの扉が開かれます。

#### [NEW!] アッシュ・ペー・フランス賞 1名

アッシュ・ペー・フランスが運営する H.P.FRANCE WINDOW GALLERY (丸ビル1階)にて8月に個展を行う機会を得られ、アーティストとして更なるキャリアを積むことができます。

#### 審査員：

ゲスト審査員	小谷 元彦	(アーティスト)
審査員	天野 太郎	(横浜トリエンナーレ・グループ長、横浜美術館 主席学芸員)
(アイウエオ順)	植松 由佳	(国立国際美術館 主任研究員)
	後藤 繁雄	(京都造形芸術大学 教授)
	木幡 和枝	(東京藝術大学先端芸術表現科 教授)
	小山 登美夫	(小山登美夫ギャラリー代表、明治大学国際日本学部 特任准教授)
	佐藤 直樹	(ASYL アートディレクター、多摩美術大学 准教授)
	高橋 明也	(三菱一号館美術館館長)
	長谷川 祐子	(東京都現代美術館チーフキュレーター、多摩美術大学 特任教授)

#### ◇ゲスト審査員：小谷 元彦(アーティスト)

1972年京都府生まれ、東京藝術大学美術学部彫刻科卒業、同大学院美術研究科修了。木彫をはじめ、毛皮や剥製、また写真や映像に到る多用な手法と素材を使い、実体のない存在を作品にとらえながら、美術史における彫刻の概念に挑み、その新たな可能性を追究している。



#### 主な展示

- 1997年 ファントム・リム(個展)、Pハウス、東京
- 2003年 第50回ヴェネチア・ビエンナーレ「ヘテロトピア」日本館、ヴェネチア
- 2004年 モディフィケーション(個展)、キリンプラザ大阪、大阪
- 2009年 Hollow(個展)、メゾンエルメス8階フォーラム、東京
- 2010年 幽体の知覚(個展)、森美術館、東京



「Inferno」  
2008-10  
撮影：木奥恵三  
写真提供：森美術館

◇a.a.t.m.過去参加アーティストの主な活動状況

過去4回のa.a.t.m.参加アーティストの中からは、アート界で活躍目覚しい注目アーティストが多く誕生しています。a.a.t.m.からステップアップしていく彼らの今後にもご期待ください。

a.a.t.m. 参加年	アーティスト名	大学名	近年の活動
2010年	岩名泰岳(準グランプリ)	成安造形大学	2011年 制作展、デュッセルドルフ芸術アカデミー、デュッセルドルフ(ドイツ)
	枝史織(天野太郎賞)	東京藝術大学	2011年「第30回 損保ジャパン美術財団選抜奨励展」 損保ジャパン東郷青児美術館
	小浪次郎 (シュウ ウエムラ賞)	東京工芸大学	2011年 シュウ ウエムラとのコラボレーションで tokyo lash bar 2011 ethnocolor-scope のグローバルキャンペーンビジュアル撮影を手がける 2011年「THE PHOTO/ BOOKS HUB TOKYO」表参道ヒルズ地下3F スペース オー、東京
	増田恵助	愛知県立芸術大学	2011年「ワンダーシード2011」トーキョーワンダーサイト渋谷
	山田優アントニ	愛知県立芸術大学	2010年 第20回 佐藤美術館奨学生美術展
2009年	Wah(南川憲二+増井宏文) (グランプリ)	東京藝術大学	2010年「Home Ground Footbal」、ロッテルダム 2011年 wah document÷てんとうむしプロジェクト「Tightrope walking〜 てんとうむしのつなわり〜」、京都芸術センター、京都
	伊藤彩(準グランプリ)	京都市立芸術大学	2011年 個展、小山登美夫ギャラリー
	河野里沙 (シュウ ウエムラ賞)	東京藝術大学	2010年「ひとひと」、Bambinart Gallery (Arts Chiyoda 33331)、東京 2010年 シュウ ウエムラの131作品目のモードメイクアップ florescent (フローレセント)とクレンジングオイル アドバンスト クラシックと コラボレーションした 作品が限定販売 2011年 世界的なベストセラー クレンジング ビューティ オイル プレミアム A/O アドバンストとコラボレーションした作品が限定販売予定
	山本努	東京藝術大学	2010年「data and vision」、AKI GALLERY、台湾 2011年「The Light Field -光の場-」G-tokyo 2011 (SCAI THE BATH HOUSE)、東京
2008年	水田寛	京都市立芸術大学	2010年 MOT アニュアル2010「装飾」(東京都現代美術館)、東京
2007年	荒神明香 (グランプリ)	東京藝術大学	2010年「犬島アートプロジェクト sejima」、瀬戸内国際芸術祭、岡山 2010年「と、そこに」、メゾン エルメス銀座、東京 2010年「Ecologica」、サンパウロ近代美術館、サンパウロ 2011年「BYE BYE KITTY!!! Between Heaven and Hell in Contemporary Japanese Art」、Japan Society Gallery、NY
	大庭大介	東京藝術大学	2010年「data and vision」、AKI GALLERY、台湾 2011年「The Light Field -光の場-」G-tokyo 2011 (SCAI THE BATH HOUSE)、東京
	小牟田悠介	京都造形芸術大学	2010年「data and vision」、AKI GALLERY、台湾 2011年「The Light Field -光の場-」G-tokyo 2011 (SCAI THE BATH HOUSE)、東京

◇a.a.t.m.受賞作家からのメッセージ

■松島俊介(2010年グランプリ受賞作家)

a.a.t.m.では作品を見せることも大事ですが、作家としてどんな言葉を語るかを問われる場だと思います。審査員の方々はずごく丁寧に話を聞いてくれました。こんな機会は他にはないと思うので、積極的に言葉をぶつけてみて下さい。今回参加される作家の皆さんには、a.a.t.m.という舞台を楽しむと同時に、この貴重な機会をどう生かせるか、考えてほしいと思います。

■河野里沙(2009年シュウ ウエムラ賞受賞作家)

a.a.t.m.に参加して出来た人とのつながりから様々な発表の場を得ることができ、充実した日々を過ごしています。シュウ ウエムラ賞をいただいた関係で昨年は同ブランドで2つのプロジェクトの商品デザインをさせていただきました。a.a.t.m.が今年参加される作家の皆さんにとって充実した濃いものになりますように。たくさんアピールして下さい！

◇ アートアワードトーキョー丸の内2011一次審査通過(展示予定)作家 (30名)(五十音順)

氏名	卒業／修了大学名
揚妻 博之	東京藝術大学大学院
飯山 由貴	女子美術大学
伊藤 彩	京都市立芸術大学大学院
稲恒 佳奈	東北芸術工科大学
今井 悠子	京都造形芸術大学
江上 真織	愛知県立芸術大学大学院
大久保 如彌	武蔵野美術大学大学院
川島 崇志	東京工芸大学大学院
菅 亮平	東京藝術大学大学院
清原 亮	東京造形大学
桐月 沙樹	京都市立芸術大学大学院
桑田 朋以	東京藝術大学
呉 弦佑	東京藝術大学大学院
小室 貴裕	東京藝術大学大学院
小山 真徳	東京藝術大学大学院
笹川 治子	東京藝術大学大学院
柴田 英里	東京藝術大学大学院
下條 沙恵子	多摩美術大学
謝花 翔陽	東京藝術大学
菅原 有生	武蔵野美術大学
薄田 歩美	東北芸術工科大学大学院
竹内 義博	京都造形芸術大学
武田 敦子	京都造形芸術大学大学院
堂東 由佳	京都市立芸術大学大学院
長谷川 銀	金沢美術工芸大学
藤本 絢子	京都造形芸術大学大学院
町田 沙弥香	東京藝術大学大学院
村林 由貴	京都造形芸術大学大学院
山本 理恵子	京都市立芸術大学大学院
和田 真由子	京都市立芸術大学大学院

<この件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

三菱地所ビルマネジメント株式会社 丸の内PR事務局 (平日9:30~18:00)

TEL: 03-3403-0292 / FAX: 03-3403-0359

E-mail: marunouchi@ozma.co.jp

<この件に関する一般の方のお問い合わせ先>

丸の内コールセンター TEL 03-5218-5100(11:00~21:00)

※但し、日曜・祝日は20:00まで(連休の場合は最終日のみ20:00まで)